

英語科学習指導案

日時：平成30年11月13日（火）第5校時
場所：中舎2階 英語教室
学級：1年D組（男子17人 女子12人）
授業者：可知美佐登 下田大暁 Johnny Wilson

1 単元（題材）における生徒の実態 単元名 Lesson 6 “My Family”

本単元は、ALTのブラウン先生が家族の紹介をし、イギリスの文化について取り上げている。イギリスと日本とを比較することで、自国の文化を改めて知ることのできる単元である。

重点とする指導事項は「話すこと（イ）自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。」とした。

生徒は、会話活動で友達と分け隔てなく自然に話ができ、分からないことがあると、友達や先生に質問をし、意欲的にコミュニケーションを図ろうとする生徒が多い。しかし、短いフレーズは使えるが、主語、動詞を意識して話している生徒は多くない。

本単元では、海外旅行で行くと良い場所について、自分の考えや事実を聞き手に伝える活動を行う。1年生は他国に関してもっている知識は少なく、どの国が良いか判断することは難しい。そこで、他の単元でも関係する他国の文化を紹介し、世界には今まで知らなかった魅力的な場所、ものがあることを知らせる。本単元では、今まで学んだ国についてまとめた表などを参考にして、どの場所を薦めたらよいか判断させる。

2 研究の主張点

（1）研究内容1＜「習得」と「活用・探究」の学びのつながりを明確にした単元構成の工夫＞

自分の考えを即興的に表現できる生徒を育成するために、各単元で行うそれぞれの活動のねらいを明確にしている。毎時間、帯活動としてSmall Talkを行い、基本の文法を習得させる。習得した文法・表現を活用する場として、違う内容で同じ活動を繰り返す。このような活動形態をとることで、生徒は、何をどのように話せばよいか分かり、即興的に話せるようになると思う。

本単元では、「ピッタリな行き先を考える活動」を、相手をかえて何度も行う。同じ形式の活動を繰り返し行うことによって、自分の情報を伝えるための表現や、質問の仕方を学ぶ。さらに、より良い提案をするために、相手に質問をして情報を獲得する。このように、自分の考えを伝える活動を内容を変えて何度も繰り返し行うことで、新しい文法・表現を身に付けることができると考える。

（2）研究内容2＜一人一人が課題解決できる手立ての工夫＞

①一人一人が課題解決に向かうための主体的・対話的な学びを促す工夫

生徒が英語で表現し伝え合うため、他国の文化を理解したうえで、他者の嗜好に応じて行くと良い場所を自分で考え紹介する課題を設定した。

課題提示では、以前は生徒が活動中に困らないように、必要と思われる表現を最初に与え、生徒は与えられた表現を使って練習をして、課題解決を行っていた。しかしこのような方法では、生徒が自ら考え、表現する力を獲得することは難しい。主体的に問題を解決していく力を養うために、与える情報を極力少なくし、活動中に生徒が使いたいと思う表現を獲得できる場を設定した。

中間評価は、多く見られる間違いの確認・訂正を行い、使うと良い表現を広める場とする。また、生徒の援助となるよう、会話の基本パターン、生徒が間違えやすい文法や使える表現を板書し、視覚化を図る。

②学びの状況を実感できる授業終末の工夫

対話活動では、正しい英語で表現しているかをその場で評価することが難しい。そこで、自分が発話した英文を書いて、添削することで正しい英語で表現できているか確認する。授業終末で、自分が話したことを書き、書いたものを生徒相互でチェックし、三単現の“s”など、本単元で押さえないことに絞って訂正を行う。教師が添削するのではなく、生徒が互いに訂正し合うことで自分の間違いに気付くことができると考える。

3 単元構想図 Lesson 6 “My Family” (全11時間) ●:「習得」 ★:「活用・探究」

【単元の指導目標】海外旅行でおすすめの場所について伝え合う活動を通して、情報を正確に聞き取り、旅行に行く人に適した国を、選んだ理由を明らかにして、3人称単数現在形を正しく用いて、3往復程度の対話で話すことができる。

【学習の系統】小：We Can! 1 Unit 6 “I want to go to Italy.” Hi, friends! 2 Lesson 5 “Let’s go to Italy.” 行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。
中1：Lesson 3 “I Like Soccer” 自分好きなものについて、一般動詞を含む英文を正しく用い、4文程度で話すことができる。

(1) 外国語で表現し伝え合うための外国語や場面状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること
What country is good for him/her? その人にピッタリな国をすすめるように、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、

第1時●【意欲・関心・態度】

「家族で海外旅行をしたいが、どこに行くか悩んでいる。家族の情報を聞いてピッタリな行き先を考える」という活動を通して、終末の活動のイメージをつかみ、単元を貫く課題を理解している。

第2時●【知識・理解】

主語が3人称単数であり、現在のことを述べる時には動詞の末尾にsやesを付けることを理解している。

第5時●【外国語理解】

3単現の否定文を理解し、ブラウン先生の妹がどんな人物なのかを読み取ることができる。

第3時●【外国語理解】

3単現の使い方を理解し、ブラウン先生の両親がどんな人物なのかを読み取ることができる。

第6時★【知識・理解】

二つのもののうち、どちらかを選択する表現の使い方を理解している。

第4時●【外国語理解】

3単現の疑問文を理解し、ブラウン先生の弟がどんな人物なのかを読み取ることができる。

第7時★【外国語表現】

家族が好きなことを3人称単数現在形を用いて正しい英文で表現することができる。

三人称単数現在形の形式・意味・用法を習得

三人称単数現在形の活用、ピッタリな行き先を選び、

第8時★【外国語表現】

旅行に行く人の嗜好を聞いて、どこに行くか、理由を伝え、薦めることができる。

第9時★【外国語表現】

旅行に行く人の嗜好を詳しく聞いて、どこに行くか、理由を伝え、薦めることができる。

第10時(本時)★【外国語表現】

旅行に行く人の嗜好を詳しく聞いて、相手に質問をして確かめ、どこに行くか、理由を伝え、薦めることができる。

第11時★【外国語表現】

今まで聞き取った情報から、自分の家族が行くと良い場所と、その理由を4～5文で書きまとめることができる。

【知識及び技能】

おすすめの場所について、一般動詞の3人称単数現在形を用いて、伝え合うことができる。

【思考力、判断力、表現力等】

おすすめの場所について、必要な情報を得るために質問して、理由を明らかにして伝え合う。

【学びに向かう力、人間性等】

他者の嗜好を確認しながら、おすすめの国について、自分の考えを整理して、伝え合っている。

【学習の系統】中2：恵那市にあると良い施設を考え、なぜそれがあると良いか理由を明らかにして、未来形や接続詞 that などを含む英文を正しく用い、与えられたテーマについて自分の意見や主張を5～6文程度で話すことができる。

4 本時のねらい

おすすめの場所について、その人の家族の好みなどの情報を聞きとり、嗜好に合ったものを選び、3人称単数現在形を正しく用いて、選んだ理由を明らかにして3往復程度の対話で話すことができる。

5 本時の展開 (10/11時)

	学習活動	教師の指導・援助
導入	<p>1 Small Talk Topic : Where do you want to go ?</p> <p>2 課題提示 Today, let's recommend a perfect travel place for a family member. Let's listen carefully to what they like and choose a place using "he and she". Do not forget why.</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>A: This is my cousin. He likes sports. He likes skating very much. B: Does he like barbeque ? A: Yes. He likes barbeque! B: I think Korea is good. Korea has speed skating and delicious barbeque. A: I see. Thank you.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>好みを聞いてピッタリな旅行先をすすめよう。 ~3人称単数現在形を正しく用い、なぜそこがよいか理由を伝えよう。~</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・Small Talk では、基本本文の定着及びコミュニケーションの技能（対話の広がり）について指導する。 ・ALT・JET でモデルを見せ、どう活動すればよいか見通しをもつことができるようにする。 <p><学習状況の見届け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どういう展開で話をするか分からない生徒には、会話の基本パターンを掲示することで視覚化し、確認できるようにする。 ・行く人の情報が少なく、どの場所を薦めたらよいか分からない生徒には、質問を掲示し、それを使い詳しい情報を得られるようにする。 ・聞き取った後、時間がある場合は、家族（3人称）だけでなく、本人（2人称）の意向も聞いて考えられるようにする。 <p><中間評価> 【研究内容2-①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価の中で、3人称単数が正しく使えているか確認する。 ・ALT は活動で使うとよい表現や、会話の技能を指導する。 ・使うとよい表現を、わかりやすく板書し視覚化することで、Activity②でさらに主体的・対話的な学びを促す。 <p><Activity②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間評価で指導した文法を正しく使えているか確認する。 ・情報をさらに集め、よりその人に合った場所を考えられるように援助する。 <p><定着状況の見届け> 【研究内容2-②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話したことを書きまとめる場では、主語と動詞の語順や3人称単数現在形が正しく使われているかを、ペアでチェックをする。
探究活動	<p>3 Activity① ・情報をもとに、どの場所が良いか考え、自分が一番よいと思う場所と理由を伝える。</p> <p>4 中間評価 ・He like fish.のように“s”が抜けていないかを確認し、正しく用いられるように練習する。 ・質問をすることで情報量を多くして、よりピッタリな場所を選ぶことを理解する。</p> <p>5 Activity② This time please ask more questions. And let's get more information! One answer is not enough, get more!</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>B: Does he like a hamburger? A: Yes. Very much. B: I see. Does he like an amusement park? Does he like a roller coaster?</p> </div> <p>6 Writing ・Activity で勧めた国とその理由を伝えた英文を書きおこし、ペアで添削する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>I think(Los Angeles) is good for (A).He likes pizza. And he likes a big park. Los Angeles has Disney Land. So (Los Angeles) is good . So I think America is good for him.</p> </div> <p>7 評価 ・ALT・JTE が広めたい姿について評価をする。</p>	<p>評価規準【外国語表現の能力】</p> <p><活動観察・ワークシート></p> <p>3人称単数現在形を正しく用いて、おすすめの場所を選んだ理由を明らかにして3往復程度の対話で話すことができる。</p>

英語科学習指導案

日時：平成30年11月13日（火）第5校時
場所：北舎2階 学習支援室
学級：3年D組（男子16名・女子16名）
授業者：佐々木 菜由

1 単元（題材）における生徒の実態 単元名 Lesson 6 “I Have a Dream”

本単元では、アメリカの公民権運動が取り上げられている。登場人物が語る事実やキング牧師のスピーチを読むことで、人権の大切さを考える。文法事項としては、後置修飾の形を理解する。人やものを説明する活動の中で、詳しく説明する方法を身に付ける。また本単元では、仲間とのやり取りを通して、建物や名所、人物についての情報を共有したり増やしたりしながら、より分かりやすい説明になるよう整理していく。整理した情報をもとにスピーチへつなげていく。

Lesson3ではALTやペアへのインタビュー活動を行った。ある程度準備した質問をもとに、相手の返事によって反応や質問を変更したりしながら、5往復程度の会話活動を続ける生徒が増えた。生徒への意識アンケートによると、「コミュニケーション活動を続けよう」と話題をつなげたり、質問したりすること」という設問に対し、80%の生徒が「している」もしくは「どちらかというとしている」と回答していた。しかし、まだ単語だけの対話になってしまったり、日本語を交えて質問をしたり答えたりする生徒もいる。本単元を通して、相手から情報を聞き出して、詳しく説明する力や情報を整理しながら、対話する力や内容に一貫性をもたせて話をする力を身に付けさせたい。

2 研究の主張点

（1）研究内容1＜「習得」と「活用・探究」の学びのつながりを明確にした単元構成の工夫＞

・付けたい資質や能力に対する単位時間の役割の明確化

本単元では、ある程度の分量の中で、より詳しく伝えるためには、後置修飾を用いるとよいことを生徒たちが学習していく。そこで、本単元を貫く課題を「日本の偉人を世界に紹介しよう。」とした。単元の終末の活動で、自分の尊敬している人物について、その功績や生き方を紹介しながら、なぜ自分がその人を尊敬するのか理由をつなげてスピーチをする。

そのため文法・知識を習得する時間、技能を習得する時間、そして、習得した技能を活用する時間を明確にし、その時間ごとにつけた力を単元の終末の活動につなげていく。本時は、技能の習得の時間とする。単元の終末の活動に向けて、前時まで習得した文法・知識を用いて、表現方法を確認し、正確に説明できるようにする。人物やその人の功績をより詳しく説明したり、人物の功績や生き方と自分が尊敬する理由の一貫性をもたせたりしてスピーチ作成につなげていく。

（2）研究内容2＜一人一人が課題解決できる手立ての工夫＞

①一人一人が課題解決に向かうための主体的・対話的な学びを促す工夫

本時は、対話を通して、より詳しい説明や表現方法を確認し、また後置修飾を用いて説明する力を習得させたい。そこで、導入時に、教師と生徒の対話をモデルとして示し、写真等をより詳しく説明する方法や表現方法を確認する。活動の中で、後置修飾を正確に使うために黒板等に形式について掲示をし、正しく用いる意識をもたせる。また中間評価等で、後置修飾を正しく用いることができたか確認する。

②学びの状況を実感できる授業終末の工夫

活動の中では、説明に後置修飾を用いた英文を使うというTaskを全員が達成できるようにする。そのために、写真等は、生徒が簡単に説明できるものを用意する。また、既習の英語表現を使えるように、その場で自分が説明するものを選び、後置修飾だけでなく、今まで学習してきた表現を考えながら、説明する。

話す活動の中では、後置修飾を用いたか、正しい英語で表現しているかについて、生徒全員をその場で評価することは難しい。そこで、自分が発話した英文を書いて、添削することで後置修飾を用いているか、正しい英語で表現できているか確認する。また、文法事項である後置修飾を用いているかに重点を置き、自分だけでなくペアなどの英文を確認して、自分の学びの状況を確認できるようにする。

3 単元構想図 Lesson 6 “I Have a Dream” (全13時間) ●習得 ★活用・探求

【単元の指導目標】自分の尊敬する人を説明する活動を通して、後置修飾を正しく用いて、その人物の生き方や尊敬する理由について一貫性をもたせながら、10文程度の英文でスピーチしたり、書きまとめたりすることができる。

【学習の系統】中2：Lesson 6 ‘My Dream’ 相手の好みや特技など相手の情報を得て、to不定詞を含む英文を正しく使い、その人にあった職業を5文程度の英文で伝えることができる。

Talk about the person you respect. (日本の偉人を世界に) (外国人で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えながら再構築すること)

第1時●【関心・意欲・態度】JTEの尊敬する人物、その人物の生き方と尊敬する理由を聞き取り、「日本の偉人を世界に」という単元の見通しをもっている。

第2時●【外国語理解】後置修飾(名詞+現在分詞形、過去分詞形)について理解し、ポールと久美の対話を読み取ることができる。

第4時●【外国語理解】後置修飾(名詞+SV)について理解し、ポールの話した内容を読み取ることができる。

第6～7時●【外国語理解】キング牧師のスピーチを読んで、彼の夢やアメリカの歴史について読み取ることができる。

第8時●【外国語理解】キング牧師やケネディ大統領のスピーチを聞いて、話し手が伝えたい内容を聞き取ることができる。

第3時●【外国語表現】写真やイラストについて、後置修飾を用いて場所やものを4文程度で話したり、書いたりすることができる。 <本時>

第5時●【外国語表現】写真やイラストについて後置修飾を用いて5文程度で話したり、書いたりすることができる。

第9時●【外国語表現】キング牧師の抱いた夢や人種差別について、写真や資料を用いながら、自分の感想を交えて、6文程度で話したり、書いたりすることができる。

This is the picture showing American history. Dr King fought for anyone's right in the USA and changed the law. In 1963, he made a speech known for 'I have a dream.' at the Lincoln Memorial. One year after, he won the Nobel Peace Prize. I think he was a brave person. And his dream lives on.

第10～11時★【外国語表現】自分の尊敬する人物について、功績と尊敬する理由に一貫性をもたせるために情報を整理し、話すことができる。 <やり取り→スピーチ>

第12時★【外国語表現】自分の尊敬する人物について、整理した情報をもとに、尊敬する理由や生き方、功績を結びつけて10文程度の英文で話すことができる。

第13時★【外国語表現】尊敬する人物についての記事を書く活動を通して、尊敬する理由とその人の生き方、功績を結びつけて、10文程度の英文で書きまとめることができる。

The person I respect is Nishikori Kei.
Nishikori Kei is a tennis player from Shimane. He started playing tennis when he was 5. He wanted to be the number one tennis player in Japan. He went to the US to practice tennis when he was 13. He kept practicing tennis and made great efforts. He won many tournaments. But now he still tries hard.
'Luck can come only when you go through hardship.' moved me. One thing I learned from him is 'to never give up my dream.' I want to try hard for my dream like him.

【知識及び技能】

尊敬する人物について、後置修飾を用いて紹介することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

尊敬する人物について、その人の生き方や尊敬する理由について一貫性をもたせて紹介する。

【学びに向かう力、人間性等】

他者に配慮しながら、自分の尊敬する人物について紹介しようとする。

【学習の系統】Project 2 日本文化を紹介しよう 日本文化について紹介するために、写真などを用いて、聞き手に効果的に伝わるように原稿を書いたり、スピーチをしたりすることができる。

4 本時のねらい

建物や名所などの写真やイラストを説明する活動を通して、現在分詞や過去分詞による後置修飾の使い方や意味を理解し、後置修飾を用いて建物や名所を4文程度で話したり、書いたりすることができる。

5 本時の展開 (3 / 13)

過程	学 習 活 動	教師の指導・援助
課題把握	<p>1. 課題提示 [L]</p> <p>T: Look at this picture. This is a temple called 'Senso-ji'. It is famous for the gate called 'Kaminari-mon'. It has big lantern. Many foreign people come there and take pictures in front of it. Did you go there? What did you do?</p> <p>S: I went there and got omikuji.</p> <p>T: You enjoyed omikuji! I see. So you can enjoy omikuji there. And, how was the result?</p> <p>S: I got Daikichi!</p> <p>T: Lucky you!</p>	
課題追究	<p>写真を詳しく説明しよう ~後置修飾を使って~</p> <ul style="list-style-type: none"> 後置修飾を用いた説明を聞いて、何が説明されているか理解する。 <p>2. Activity①[S・L]</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京研修で行って来た場所の説明をする。 <p>A: This is a street called Takeshita-Dori. There are many shops selling good sweets. I ate ice cream there.</p> <p>B: This is a building built in 2012. It is the highest tower in Japan. The view from this was very beautiful.</p> <p>A: Did you go to Takeshita-Dori?</p> <p>B: Yes. I ate crepe there. And there were a lot of people. It is popular among young people.</p> <p>A: I see. I saw the rainbow bridge from Tokyo Sky Tree, it was nice too.</p> <p>B: I could find Tokyo Dome!</p> <p>3. 中間評価[S]</p> <ul style="list-style-type: none"> 文法の間違い(動詞の現在分詞形、過去分詞形)がないか、表現したいことはなかったか確認する。 仲間の表現の良さを確認し、自分の説明で取り入れられるところはなかったか考える。 <p>4. Activity②[S・L]</p> <p>A: This is the NHK studio park talking about NHK TV programs. We could see Hanbun-Aoi, and enjoyed it there. I saw Domo-kun.</p> <p>B: This is the amusement park called Tokyo Disney Land. It has many characters. I like Mickey Mouse the best.</p> <p>A: I enjoyed Disney Land too. I ate a pizza shaped like Mickey.</p> <p>B: I see. I tried to announce in NHK. It was fun!</p> <p>A: Yes, in NHK studio park, we can try to announce. It is good.</p> <p>B: What did you do in Tokyo Disney Land?</p> <p>A: I found the hidden Mickey Marks! Did you?</p> <p>B: The hidden Mickey Marks! I didn't find them!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時までの復習をかねて、本時使用する後置修飾について理解しているか確認する。 JTEと生徒のやりとりを示し、仲間とのやりとりをしながら、情報を追加していく活動の見通しをもつことができるようにする。 <p><学習状況の見届け></p> <ul style="list-style-type: none"> その建物や場所が「~する」なのか「~される」なのかを確認し、動詞の現在分詞形、過去分詞形のどちらを使うのか基本的なパターンを提示することで視覚化し、確認できるようにする。 情報が少なく話せない場合には、質問を提示し、相手から情報を聞き出すことでより詳しい説明ができるようにする。 <p><中間評価>【研究内容2—①】</p> <ul style="list-style-type: none"> 中間評価の中で、後置修飾が正しく使えているか確認する。 相手の説明から分からなかったことやもっと詳しく説明するための方法を板書に位置付ける。 仲間のよい表現を知り、取り入れるための時間を設ける。 <p><Activity②></p> <ul style="list-style-type: none"> 中間評価で指導した文法を正しく使えているか確認する。 東京研修で行った場所だけでなく、有名な建物や名所等を提示し、同じように後置修飾を用いて説明できるようにする。 <p><定着状況の見届け>【研究内容2—②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートに、後置修飾を用いて4文程度で建物や場所の説明が書けているのか見届ける。 This is ○○~ing / ~ed...という後置修飾の形で書けているか確認する。
まとめ	<p>5. Activity③[W]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が説明したものについて、書く。 仲間のよさで取り入れたものがあれば、追加して書く。 互いに英文を読み直し、後置修飾について添削する。 <p>This is a street called Takeshita-Dori. This is popular among young people. There are many shops selling sweets. I ate ice cream shaped like a cat and a rabbit. I enjoyed it there.</p> <p>6. 自己評価と振り返りをする。</p>	<p>評価規準【外国語表現の能力】</p> <p><活動観察・ワークシート></p> <p>現在分詞や過去分詞による後置修飾の使い方や意味を理解し、後置修飾を用いて場所や名所を4文程度で話したり、書いたりすることができる。</p>